

若松区の日本遺産

01 石炭会館

(旧若松石炭商同業組合事務所)



迎賓館や会議室としても利用された、若松区に現存する最古の洋風建築です。明治38(1905)年竣工。

02 旧古河鉱業若松ビル

国登録有形文化財(建造物)



筑豊炭田で産出された石炭の中核地として栄えた若松を代表する近代建築です。大正8(1919)年竣工。

03 上野ビル

(旧三菱合資会社若松支店) 本館、倉庫棟、旧分析室ほか 国登録有形文化財(建造物)



筑豊からの石炭販売、運送業を担った三菱合資会社の社屋で本館は煉瓦造3階建、倉庫棟は煉瓦造2階建、旧分析室は木造平屋建です。大正2(1913)年竣工。

04 朽木ビル

国登録有形文化財(建造物)



造船と船舶代理業を行う朽木商社の本社ビル。当時としては珍しい半地下室、自家用浄化槽等を備える鉄筋コンクリート造3階建です。大正9(1920)年竣工。

05 料亭金銅本館、表門

国登録有形文化財(建造物)



若松の市街地に位置し、明治、大正期から営業していた多くの料亭の中でも著名な店のひとつ。本館は木造3階建です。現在の建物は、大正6(1917)年竣工。

若松区

若松南海岸近代化産業遺産めぐり旅



土木遺産「若松港築港関連施設群」

- ① 弁財天上陸場
- ② 若松南海岸物揚場
- ③ 出入船舶見張り所跡
- ④ 測量基準点
- ⑤ 東海岸通護岸
- ⑥ 東海岸係船護岸

若戸をこなく公共交通機関

- 若戸渡船(若松渡船場⇌戸畑渡船場) 所要時間 約3分
- 北九州市営バス(大橋通り⇌戸畑) 所要時間 約14分
- 西鉄バス(大橋通り⇌戸畑) 所要時間 約10分

戸畑区

戸畑近代化産業遺産めぐり旅



戸畑区の近代化産業遺産(一部)

01 九州工業大学正門

経済産業省認定 近代化産業遺産



明治42(1909)年、安川敬一郎氏によって開かれた「明治専門学校」を前身としています。正門や守衛門、機械群等は近代化産業遺産に指定されています。

02 旧松本家住宅・旧安川邸

国指定 重要文化財



松本健次郎氏自宅兼迎賓館として明治45(1912)年に建てられたもので国の重要文化財に指定されています。隣接する旧安川邸は市の有形文化財に指定されています。

03 戸畑図書館

(旧戸畑市役所)



昭和8(1933)年に戸畑市役所として建てられ、北九州市発足当時は市役所の本庁舎としても使われていました。

04 ニッセイ戸畑ビル

(ニッセイパイオニア館)



ニッセイ戸畑ビルは、現在ニッセイパイオニア館としてニッセイの事業や日本の水産業の過去・現在・未来を常時展示しています。昭和11(1936)年建築。

05 一文字岸壁・一文字島竣工記念碑

土木遺産



旧戸畑市の海面利用政策として、羽海浜沿岸にあった一文字島と沿岸を陸続きにするため、大正11(1922)年から埋め立てが始まり、大正15(1926)年に竣工した岸壁です。